

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で (ヨシエル)」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇 119 : 7、エペソ人 6 : 5 「真心から」、マタイ 13 : 44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

→ ⑥ 究極的に立証される神のすべての言葉
真理は人生の諸問題の解決策

信仰に生きるとは？

使徒パウロ、キリストの身体、教会の機能について、「もし一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、もし一つの部分が尊ばれれば、すべての部分がともに喜ぶのです。

あなたがたはキリストのからだであって、ひとりひとは各器官なのです」と教え、

キリストの群れが、福音宣教の機能を果たすようにと奨励

コリント人第一 12 : 26-27

考察の必要

- ① 「信仰に生きる」とはどういうことなのか
- ② 人生の諸問題にどのように対処すればよいのか

聖書 (御言葉) に黙想する信仰生活

☆聖書は、この世の人生に対して正しい方向づけを与える

☆キリスト者が神の言葉を通して養われることは必須、聞いたメッセージの真偽の見分けも必須

☆メッセージの吟味、信徒一人一人が聖書に照らし合わせて行う必要

☆キリスト者は日々、『聖書』を学び、精通している必要

☆偽教師への警告

1. 神が遣わされた聖書教師 エペソ人 4 : 11
2. 神が遣わされなかった偽教師 ペテロ第二 2 : 1

真偽の見分けの必要

キリストご自身の警告 ルカ 6 : 46

☆キリスト者の聖書離れ

☆出来事の背後で暗躍しているサタン、神の完成された啓示の書『聖書』へのキリスト者の絶対的信頼を、主観的、経験的現象を通しての個人的信念にすぎ替え、異端的な新説を教会に導入

☆要注意な傾向

†罪の自覚に基づいた信仰告白ではなく、感覚志向の信仰姿勢

†語り言葉「 $\rho\eta\mu\alpha$ 、レーマ」を、書かれた言葉「 $\lambda\acute{o}\gamma\omicron\varsigma$ 、ロゴス」に照らして吟味することなく、「ロゴス」と同等とみなす新奇な説

†心理学に基づく「クリスチャンカウンセリング」の定着

聖書的ではない自己愛、自尊心を説く人道主義 (博愛主義) 的教理の教会への浸透

†教会成長運動は会員志向の考案

この世に迎合、当世風キリスト教を再発見する試み

聖書ではなく、自分たちの教理に置かれた絶対的権威

☆キリスト教がローマ帝国の国教となった四世紀、原始キリスト信仰は失われた

昨今、神の秩序、掟さえ、大きく変化

⇒ 「神ご自身と聖書の真理は不変」を銘記する必要

☆留意すべきこと

教会がこれほどまでに荒らされたのは、なぜか？

「霊の戦い」への備えができていない！

1. 弟子訓練の不備
2. 個々の信者、神との近い関係にない
3. 「御霊の剣なる神の言葉」の誤用

聖書

→**5** 過去百パーセント成就した預言の信憑性は、未来預言の確かさを約束

感わしの時代

- ☆信者が健全な教理からそれて感わされる時代の到来 マタイ24:4
- ☆パウロ、聖書を学んでいない者たちが「健全な教え」からそれることを警告
テモテ第二4:3-4
だまされないで信仰生活を全うするようにと奨励 エペソ人4:14-15
- ⇒神の健全な教えからそれると、霊的な欺瞞に門戸を開くことになる

神の裁きの始まり

- ☆昨今の動向、教会の中に霊の戦いが起こっていることを明示 ペテロ第一4:17
- †神の裁き、クライマックスに向かって進行中 マタイ13:24-30
- †成長過程で虚偽だけを取り除くことは困難
- †**神の配慮**
わずかな本物が、間違っただけで抜き取られ、滅びることのないため

信仰の維持

- ☆鍵は健全な御言葉にしっかりと土台を据えること
- ☆「健全なことば」、—「**私の福音**」— ローマ人2:16、16:25
キリストが弟子たちに語られた教え、直弟子たちを通して一世紀に広められた「原始キリスト教会の教え」、「**家の教会**」で広められた教え ローマ人16:5、第一コリント人16:19ほか
- ☆パウロ、弟子のテトスに、主から授かった権威によって堂々と行動するようにと指示
テトス2:15
- ☆テトスの権威は、教会制度ではなく、『**聖書**』
→パウロの指示は、聖書が語る「**健全な教え**」を権威をもって語ること テトス2:1

牧会書簡

- ☆テモテとテトスへの手紙、地方教会の牧者とすべての信者に宛てられた、パウロの最後の書簡
- ☆キリスト者は**すべて**、神のための終生の働き、フルタイム・ミニストリーに従事
- ☆テモテへの最初の手紙は、キリストへの信仰を貫く不屈の精神と忠誠への命令
二度目の手紙は、それらへの挑戦

⇒パウロが弟子テモテやテトスに教示したことを通して、
キリスト者として、今をどのように生きるかの洞察を得ることができる

人生の諸問題に対する聖書的見解**1. 「うつ病」の問題****症状**

- *気分障害、意欲・興味・精神活動の低下、焦燥、食欲低下、不眠、長引くみじめさ…

要因

- *ほとんどの場合、恐れ
- *①多くの場合、根源は人の心の問題
②ときには、化学的不均衡が原因

果たして、薬を使用することは罪だろうか

答えは否

⇒神は薬を癒しの過程で用いられる

認識すべきこと

- *明確な違い
①癒しの目的のために薬を用いる
②日々生きるために継続的に薬に依存する

聖書

- ★癒しを起こす力を持っておられる「癒し主」は神だけ
神は私たちの身体だけでなく、「永遠の生命」への癒しをもたらされるただ一人の医師
ヨハネ4：14
- ★私たちが癒しのために真っ先に依存、当てにすべきは、神
- ★パニック発作の処方用いられる薬は、一時的な助けとして、用いられるべき

実情

- ★苦しむ人たちの多くは、病気の本当の原因、根源を取り扱うのを避けるために服薬
- ★自分の責任と神の癒しを否定

ふさわしい処方

- ★「徴候に対する処方」という限られた原則の下で服薬し、
人の心と精神に変容を定める「神の言葉」と「知恵ある助言」に依存するなら
⇒薬の必要、依存は次第に消滅

覚え

- ★神の言葉は、信者の人生における恐れについて多くを語っている
- ★御言葉への黙想 ⇒ 普遍的な癒しをもたらす

確信と光明を与える聖句

1. 箴言29：25
「人を恐れるとわなにかかる。しかし主に信頼する者は守られる」
2. マタイ6：34
「…あすのための心配は無用です…労苦はその日その日に、十分あります」
3. ヨハネ8：32
「…あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします」
4. ローマ人8：28-39
「神を愛する人々…患難…苦しみ…迫害…飢え…裸…危険…剣… 私たちは一日中、死に定められている…しかし、私たちは…圧倒的な勝利者となるのです…」
5. ローマ人12：1-2
「…この世と調子を合わせてはいけません…心の一新によって自分を変えなさい」
6. コリント人第一10：13
「あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません…」
7. コリント人第二10：5-6
「私たちは、さまざまの思弁と…すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従…」
8. ピリピ人4：4-9
「いつも主にあって喜びなさい…平和の神があなたがたとともにいてくださいます」
9. コロサイ人3：1-2
「…あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい」
10. テモテ第一6：6-8
「…満ち足りる心を伴う敬虔こそ、大きな利益を受ける道です…」
11. ヘブル人13：5-6
「…『わたしは決してあなたがたを離れず、また、あなたがたを捨てない。』…」
12. ヤコブ1：2-4
「…信仰がためされると忍耐が生じ…成長を遂げた、完全な者となります」
13. ペテロ第一5：7
「あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい…」
14. ペテロ第二1：3-4
「…主イエスの…御力は、いのちと敬虔に関するすべてのことを私たちに与える…」
15. ヨハネ第一1：9
「…私たちが自分の罪を言い表すなら、神は…罪を赦し…私たちをきよめてくださいます」
16. ヨハネ第一4：18-19
「愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します…」

聖書

- ☆超自然的、奇蹟的に癒しを行われる神に癒しを求めて、祈る
- ☆神は、薬、医師、医療設備を通して癒しを行われるので、それらを通しての癒しを祈る
- ☆私たちの究極的な信頼は神にのみある

2. キリスト者と「うつ病」

うつ病の型

1. 境遇のうつ病
 - ★逆境が起因
 - ★時間の経過とともに解消
 - ★墮落したこの世のもたらす辛苦、痛みに対する無理からぬ応答 哀歌3：1-18
2. 臨床的うつ病
 - ★症状、二週間以上継続
 - ★日常生活に支障
 - ★精神的な外傷がきっかけ
3. 慢性うつ病
 - ★少なくとも二年、継続
 - ★倦怠感、悲しみ、不定愁訴に特徴づけられる

聖書的分析

- ★墮落前、罪、恥じ、恐れ、病、うつ状態などは全くなかった
- ★墮落の結果、人にもたらされたもので、神の御旨ではない

人の墮落の結果、もたらされた症状

①外的

- ☆現代医学、強い遺伝的な要因を指摘
- ☆多くの場合、外因がきっかけ

②個人的

- ☆罪がうつ病に導き、放縦や自滅的な行為によって養われる
- ☆「罪が状態を悪化させる」という理解は銘記されるべき 詩篇32：3-5

③精神的

- ☆否定的な感情、認識、思いで駆り立てられる
- ☆人の価値、能力についての非聖書的な信心はうつに寄与
 1. 自分の思いをキリストに服従させる コリント人第二10：5-6
 2. 状況の真実に焦点を当てる ヨハネ8：32
 3. 「御言葉」に依存する 詩篇56：4

→神を求める必要 詩篇25：4-5

④身体的

- ☆身体をむしばむ
- ☆怪我や病気が引き金を引き、悪循環の要因となる
- ☆脳の化学的不均衡、ホルモンの不均衡も引き金となる

治療

- ☆身体のリラックスと心の安堵のために一時的な投薬、食事療法、罪の告白、霊的助言等々
- ☆神への信頼で克服
 - ⇒うつ病を通して、もっと神に近づく
 - 主が約束してくださった未来を仰ぎ、今を耐える ペテロ第一1：6-7

⑤霊的

- ☆明確に霊的要素を包含
- ☆キリスト者の神の御国のための働きを妨害する「サタンの手段」となりうる
- ☆神理解をゆがめ、喜びを絞り取る
 - ⇒聖書は、私たちの世話をすべて、神に任せなさいと語っている ペテロ第一5：7